

令和4年度 教育行政執行方針



鶴居村教育長 村上 明寛

「鶴居村に誇りと愛着をもち、豊かな 人間性を備えた『鶴居びと』の育成」 と感染症対策と学びの保障の両立

新型コロナウイルス感染症の克服が、依然として社会全体の大きな課題となっており、社会の急激な変化と相まって、一段と先を見通すことが困難な時代といえます。

こうした中、子供たちが持続可能な地域の創り手としての資質・能力を身につけ、幸福な人生を歩むことができるようにするため、学校教育の果たす役割はこれまで以上に重要となつていくと認識しています。

また、人生100年時代といわれる中で、社会教育には、誰もが生涯にわたる必要な学習を行い、その成果を生かすことのできる生涯学習社会の実現に向けた取組が求められていると認識

しています。

こうした認識のもと、教育行政の執行に臨む基本姿勢を2点申し上げます。

1点目は、鶴居村総合計画に掲げる「鶴居村に誇りと愛着をもち、豊かな人間性を備えた『鶴居びと』」を育てることを基本目標として、教育行政を推進してまいります。

2点目は、感染症対策と学びの保障の両立です。子供たちや村民の命と健康を守ることを第一に、きめ細かな感染症対策を行いながら、子供たちや村民の学びを止めることなく、学校教育・社会教育の施策を推進します。

社会で活きる力の育成

児童生徒に知・徳・体をバランスよく育むため、学習指導要領の趣旨に沿って、各教科等を通じて「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「学びに向かう力、人間性」を育成し、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた指導方法の工夫改善を図ります。

豊かな心の育成

【主な施策】

- 多様な価値観に接する中で自他の違いを認め合える人間力の育成を目指し、学校の教育活動全体を通して「豊かな心の育成」への取り組み
- 学校が児童生徒一人ひとりの状況を的確に把握し、対応ができるよう、生徒指導・教育相談体制の充実
- 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた指導方法の工夫・改善を図り、児童生徒の学習の状況や学力の定着状況を把握・分析し、教科指導等の充実・改善
- 村内5校の英語の授業でデジタル教科書を使用するなど、「情報活用能力」の育成に取り組み、ICTを活用した教育を推進
- 道教委の事業を活用して、中学校の教師による小学校3校の高学年の理科と1校の高学年の音楽を教科担任制で実施し、教科指導の専門性向上と小学校と中学校との円滑な接続を実施。
- 新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止するため学級閉鎖や児童生徒の出席停止などが想定されることから、オンラインを活用して、児童生徒の健康観察や学習を支援

健やかな体の育成

【主な施策】

- 運動の楽しさや健康の保持、体力の

向上など「健やかな体の育成」への取り組み

- 鶴居村教育研究所と連携して、体育の授業改善や体力向上の取組を推進
- 感染予防のための「保健管理」を、子供たちに「保健教育」として定着させる取り組み

特別支援教育の充実

【主な施策】

- 児童生徒の障がいに応じた特別支援学級の設置や必要な支援員の配置をはじめ、教材・教具の確保やICT環境の整備などを推進
- 一人ひとりの児童生徒の特性や状況を詳細かつ的確に把握し、学校全体で指導していくための体制づくりの支援
- 「特別支援学校等就学支援事業」により、村外の特別支援学校の小中学校部に在籍する児童生徒の学びを支援

読書活動の推進

【主な施策】

- 図書館司書による本の選定や各図書館の蔵書の整備を進め、「読書活動の推進」への取り組み
- 学校図書館の図書標準の達成、計画的な図書の更新、新聞の複数紙配備などが図られるよう、学校と一体となって学校図書館の計画的整備が進むよう必要な取組の推進

教育環境の整備

【主な施策】

- 老朽化が進む鶴居中学校の校舎の大規模改修に向けて、教育活動の充実に資する施設設備の整備となるよう実施設計を実施

ふるさと・鶴居への誇りと愛着の醸成

鶴居村に誇りと愛着をもち、豊かな

人間性を備えた「鶴居びと」を育てるため、地域資源を活用した学習の充実を図るとともに、地域の産業を理解し、望ましい勤労観や職業観の育成を図ることが重要です。

このため、豊かな地域資源を活用するなどして、ふるさと教育の充実に取り組めます。

ふるさと教育の推進

【主な施策】

- 小学生用の補助教材「郷土読本つるい」を活用したふるさと学習を推進
- 学校給食で地場産物を積極的に活用し地域理解を促進する「ふるさと給食」の充実
- 「キャリアパスポート」を学校段階を越えて活用し、社会的・職業的自立に向けた能力の育成を実施
- タンチョウ保護や共生の在り方を示す「タンチョウ鶴居モデル」の実現に向け、国や北海道との連携のもと、支援の実施
- 旧鶴居村営軌道について、貴重な文化遺産としての保存や活用の在り方について、引き続き検討

地域に立脚した学校づくりの推進

学校教育の質の向上を図るためには、教職員間、学校間、学校と地域の連携・協働を推進することが必要です。

このため、「コミュニティスクール制度」や「学校支援地域本部事業」を効果的に推進し、「あいさつ運動」の推進や通学路の安全確保など、地域全体で子供たちの成長を支えていく取組を進めます。

また、道教委の事業を活用して、令和3年度から鶴居中学校を中核校とし

て村内5校が相互に連携して、学習指導の充実や働き方改革の推進などの包括的な学校改善に取り組んでおり、引き続き、鶴居中学校に追加される2名の教職員を中心に小中連携や学校間連携を推進します。

さらに、喫緊の課題である学校における働き方改革については、校務・教務の効率化を進めるため各校に「校務支援システム」を導入するとともに、ICT支援員の配備を継続し、各校のICT運用を支援します。また、各校の事務職員がコディネーターとなつて、教員が本来担うべき業務に専念できるよう、学校全体の業務分担の見直しや効率化を進めます。

生きがいを創造する生涯学習の推進

人生100年時代を迎え、村民の皆様が生涯を通じて学び、その成果を生かせる環境を作ることが重要です。

このため、村内関係団体と連携し、多様な学習機会の提供と住民同士のつながりを促進します。

女性団体・高齢者団体への支援

●鶴居村女性団体連絡協議会が各種事業を積極的に実施できるよう、支援・協力の実施

●きめ細かな感染症対策のもと、安心して学ぶことができるよう寿大学の支援

青少年健全育成

【主な施策】

●「わんぱくアドベンチャークラブ」など、子供たちの自主性や創造性を大切にした体験活動の機会を提供できるよう取り組み

●スポーツや文化活動に優れた成績をあげた青少年への表彰事業の継続実施

このため、村民が生涯にわたり、様々な機会や場所において、自主的に自身の適性や健康状態に応じてスポーツを行うことができるよう取り組みます。

スポーツの普及

【主な施策】

●種目別のスポーツ教室を「鶴居アスリートクラブ」などの関係団体や指導者の協力を得ながら開催

総合体育館の建設

【主な施策】

●新総合体育館について、本年10月の開館を目指し、設備・備品の整備、指定管理者制度を活用した管理運営、利用料金など施設運用に向けた準備を推進

●開館後には村民や来村者に安心して親しんでいただけるよう、健康づくりや体力向上のための事業の準備を促進。

心に豊かさと潤いをもたらし文化活動の機会の確保・充実

村民が潤いと豊かさに満ちた人生を送るためにも、文化・芸術が日常生活の中で身近な存在であることが大切で

このため、本村の芸術文化活動の中心的な役割を担う鶴居村文化協会が文化祭をはじめとした多彩な活動を充実できるよう協力・支援をしていきます。

また、情報館が本村の生涯学習の中核的役割を果たすため、図書館機能の充実に取り組み、「図書館祭り」などの機会を通して、文化・芸術の情報提供を進めるとともに、作品の展示などを通して、村民の身近な芸術鑑賞の機会を提供できるよう取り組んでまいります。

心身の健康を育むスポーツ活動の機会の確保・充実

心身の健全な発達を促し、明るく活力ある地域社会を形成するうえで、スポーツの果たす役割は重要です。

●社会教育全般にかかわって、少子・高齢化の進展やウイズコロナ・ポストコロナを見据え、子供たちや村民の文化活動・スポーツ活動の機会の確保も含め、社会教育の在り方について、次期「鶴居村社会教育中期計画」の策定を念頭に、課題等を検討

以上、令和4年度の教育行政の推進について、主要な施策を中心に具体的取組の概要について申し上げます。

ふるさと・鶴居に誇りと愛着をもち人間性豊かな「鶴居びと」を育成し、地域づくりの一翼を担うことが教育委員会会の使命ととらえ、教育委員会職員が一丸となってその使命を果たしてまいりますので、村民の皆様並びに議員の皆様のご理解とご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。